

新型コロナウイルスワクチンの接種体制について

1 ワクチンの供給について

4月供給分(3/12時点)

- ・東京都全体 44箱
- ・板橋区 2箱(975人×2回接種分)

※すべてファイザー社製ワクチン

※4月12日の週に到着予定。以降の割当量は未定

2 ワクチンの割り当て等の基本的な方針(板橋区内)

- (1) ワクチンは2回接種することで有効性を確認しているものなので、一人につき2回分のワクチンが必要であることを前提に、割り当てを調整する。
- (2) ワクチンが十分に供給されるまでは、一般区民への通知の発送や住民接種は見合わせ、高齢者施設へ優先して割り当てる。
- (3) 高齢者施設での接種に関しては、入所者における区民の割合や施設の規模などを参考にして、対象施設を決定する。
- (4) 高齢者施設での接種は当面、入所者のみを対象とする。ただし、5月以降にワクチンが十分に供給された場合は、入所者と施設従事者は同時に接種する。
- (5) 障がい者施設についても同様に、当面は入所者や利用者のみを対象とするが、十分な量が届いた後は施設従事者も同時に接種する。
- (6) 住民接種を実施する場合、接種券等はまず75歳以上の方のみに送付するなど、問い合わせの集中を避けるよう配慮する。

○4月分のワクチンの割り当てについて

ワクチンの十分な供給が見込めないため、接種券の発送や住民接種は行わず、高齢者施設入所者に対し、施設毎に接種を実施する。

3 4月分のワクチンの割り当て先

- ・介護老人福祉施設等のうち6施設程度に割り当てる。
- ・個別の施設名は公表しない。

- ・接種対象者の接種券は、保健所で個別に発券する。

4 接種券の発送について

4月中は住民接種を実施できず、予約を受け付けることもできない点を踏まえ、接種券の発送は、5月上旬以降とする。

国や東京都から新たな供給に関する情報が示され次第、速やかに通知の発送や住民接種の開始までのスケジュールを策定し、区民へ周知する。

5 職員の応援について

(1) コールセンター従事

5月連休明けを目途に、従事を開始する予定

(2) 集団接種会場従事

5月中旬以降を目途に、従事を開始する予定

※(1)(2)ともに、4月上～中旬頃、応援依頼を発出予定

6 今後のスケジュール

3月	中旬	ワクチン2箱の割り当てを決定
	24日(水)	各施設から対象者リストを受領
	27日(土)	広報特集号の全戸配布
4月	2日(金)	対象者(施設入所者)へ接種券を送付
	12日(月)～16日(金)	ワクチン到着。保健所にて小分け、配送準備
	19日(月)以降	ワクチンを対象施設へ配送 高齢者施設での接種開始
5月	月上旬以降	個別通知を発送(75歳以上)
	月中旬以降	個別通知を発送(65歳～75歳未満) 住民接種開始(仮)

新型コロナウイルスワクチン接種 板橋区実施計画・概要版（案）

令和3年2月16日 初版
令和3年3月24日第2版

通常の実施計画とは異なり、不確定要素が多いため、現時点で確定ではありません。国・東京都の動向を踏まえ、随時更新していきます。

目 次

- 1 実施概要
- 2 実施スケジュール
- 3 実施体制及び接種見込み数
- 4 接種券送付から予約の流れ
- 5 ワクチン接種の当日の流れ
- 6 ワクチン輸送
- 7 高齢者施設等入所者及び訪問診療受診者への接種
- 8 障がい者施設入所者等への接種
- 9 接種時期に実施すべき対応

1 実施概要

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大及び蔓延防止に対処し、区民の安心・安全を確保するため、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン（以下「ワクチン」という。）の接種について、区の特性を活かした実施体制を整備する。

(2) 国、東京都、区の役割

① 国

ワクチンの確保、費用の負担、接種順位の決定、ワクチンに係る科学的知見の情報提供、健康被害救済に係る認定等

② 東京都

地域卸売業者との調整（ワクチン流通等）、優先的な接種の対象となる医療従事者等への接種体制の整備、専門的相談対応等

③ 区

医療機関との委託契約及び接種費用の支払い、住民への個別通知（接種券等）、接種手続等に関する一般的相談対応、集団接種を行う場合の会場確保等、健康被害救済申請受付・給付等

(3) 接種見込み数

全区民から医療従事者及び15歳以下の区民を除いた約51万人に対して、接種率を概ね7割と想定し、72万回（36万人が2回接種）の接種を見込む。

(4) ワクチンについて

- ① 想定されるワクチンは現時点で3種類だが、当面供給が見込まれるのは、ファイザー社製のみ。
- ② 国・都が決定した区の供給分を、区が各接種会場に割り当て調整するが、具体的な供給量や供給の時期は、現時点では4月分以外は未定。
- ③ ファイザー社製のワクチンは超低温での管理が必要なことから、国が一括購入した超低温冷凍庫が、自治体の人口規模に応じて無償贈与される。

(5) 接種の順位及び開始時期の見込み

① 接種順位

No.	対象者	対象人数	通知の発送等	接種開始
1	医療従事者向け先行接種	約 15,000 人	国が調整	2月中旬
2	医療従事者向け優先接種		都が調整	3月上旬
3	高齢者（65歳以上）	約 133,000 人	5月上旬以降	4月中旬（※3）
4	20歳～64歳（※1）	約 356,000 人	未定	未定
5	16歳～19歳（※2）	約 17,000 人	未定	未定

※1 ①基礎疾患を有する者 ②高齢者施設等従事者 ③60～64歳の者の順

※2 国が示す接種の対象年齢は、当面16歳以上とする方向

※3 高齢者については、4月中のワクチン供給量が少ないため、4月中旬から高齢者施設入所者の接種を開始する。なお、一般の高齢者への接種券は、ワクチン供給量を見ながら5月上旬以降に発送する。

② 接種期間

ア 高齢者 接種開始から3か月で希望者全員に接種

イ 16歳から64歳 令和3年12月末までに希望者全員に接種

(6) 実施体制

① 区施設

・5か所（板橋・常盤台・赤塚・志村・高島平の各地域に1か所）

② 医療機関

・病院、診療所等 約200か所

③ 高齢者施設

・介護老人保健施設等 約130か所

④ 訪問診療受診者

⑤ 障がい者施設入所者等

(7) 高齢者施設等入所者

施設入所者については、原則として個別の施設毎の接種希望者を把握し、ワクチンを当該施設もしくは嘱託医の所属医療機関等へ配送し、各施設で接種する。

(8) 訪問診療受診者

在宅で訪問診療を利用している方については、板橋区医師会在宅医療センターを通じて、予防接種の対象となる方のリストを作成する。実施医療機関ごとの接種希望者を把握し、個別にワクチンを配送、接種する。

(9) 相談・予約体制

ワクチン接種は、原則として事前予約制とする。

① コールセンターの設置（令和3年3月1日～）

- ・ワクチン接種に関する一般的な相談への対応
- ・区施設の予防接種の予約受付（5月上旬以降）
- ・外国人に配慮し、9か国語対応

② ワクチン接種の予約方法

ア 区施設は、コールセンターへ電話する。

イ 区施設は、インターネット上の接種予約システムでも直接予約できる。

ウ 医療機関は、直接医療機関へ電話する。

2 実施スケジュール

	コールセンター	高齢者(65歳以上)	高齢者施設等入所者 及び訪問診療受診者	16歳から64歳
3月 月上旬	開設(3/1) ・委託60回線			
中旬				
下旬			高齢者施設入所者 等の意向確認	
4月 月上旬				
中旬			接種開始	
下旬				
5月 月上旬	開設 ・職員20回線	接種券を段階的に発送 ・75歳以上(5/〇)		
中旬		・65~74歳(5/〇) 接種開始		
下旬				接種券発送(未定)
6月			6月末までに 希望者全員接種	接種開始(未定)
7月		7月末までに 希望者全員接種		
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				

※ワクチンの入荷状況により、接種開始時期等は変更になる可能性がある。

3 実施体制及び接種見込み数

医療機関が多くある区の特性を最大限活かし、通いなれた「かかりつけ医」で接種できる体制を優先しつつ、区の施設における集団接種を組み合わせ、希望する区民に対して、早期に接種できる体制を構築する。

接種見込み数については、ワクチンが継続的に必要な量が供給される目途が立っていないことや、1バイアルあたり当初は5回接種で開始する予定であるが、接種回数に関するさまざまな動きがあることから、不確定要素が大きいため調整中である。

(1) 接種見込み数（高齢者）

- ・令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種の実績 約6割
 ⇒高齢者全体の7割程度が希望すると想定
 $133,000 \text{ 人} \times 70\% = \underline{93,100 \text{ 人}}$ （約70%）
 接種開始から2か月程度で93,100人×2回=186,200回の接種を実施する。

(2) 区施設・医療機関数及び接種見込み数

施設名		設置数	1か月の 接種見込み数
区施設	旧板橋第九小学校	5か所	調整中
	中央図書館跡地		
	赤塚健康福祉センター		
	志村健康福祉センター		
	高島平区民館		
医療機関	病院・診療所等	約200か所	
高齢者施設	介護老人保健施設等	約130か所	調整中
合計		335か所	

(3) 4月中の接種

- ・区に4月中に届くワクチンは2箱分（390バイアル）であり、2回接種を行うためには、975人分となる。
- ・高齢者133,000人に対して、ワクチン供給量があまりにも少ないため、4月中は一般の高齢者ではなく、高齢者施設の入所者に対してワクチン接種を実施する。

4 接種券送付から予約の流れ

ワクチン接種は、事前予約制となる。

ワクチン接種の予約については、ご要望に応じて次の3つの方法から選択する。
なお、ワクチン接種に関する一般相談は区のコールセンターで受け付ける。

① 区施設は、コールセンターへ電話する。

コールセンターでは、ワクチン接種に関する一般相談と区施設（一部の医療機関）の予約をすることができる。なお、コールセンターは9か国語での対応が可能となる。

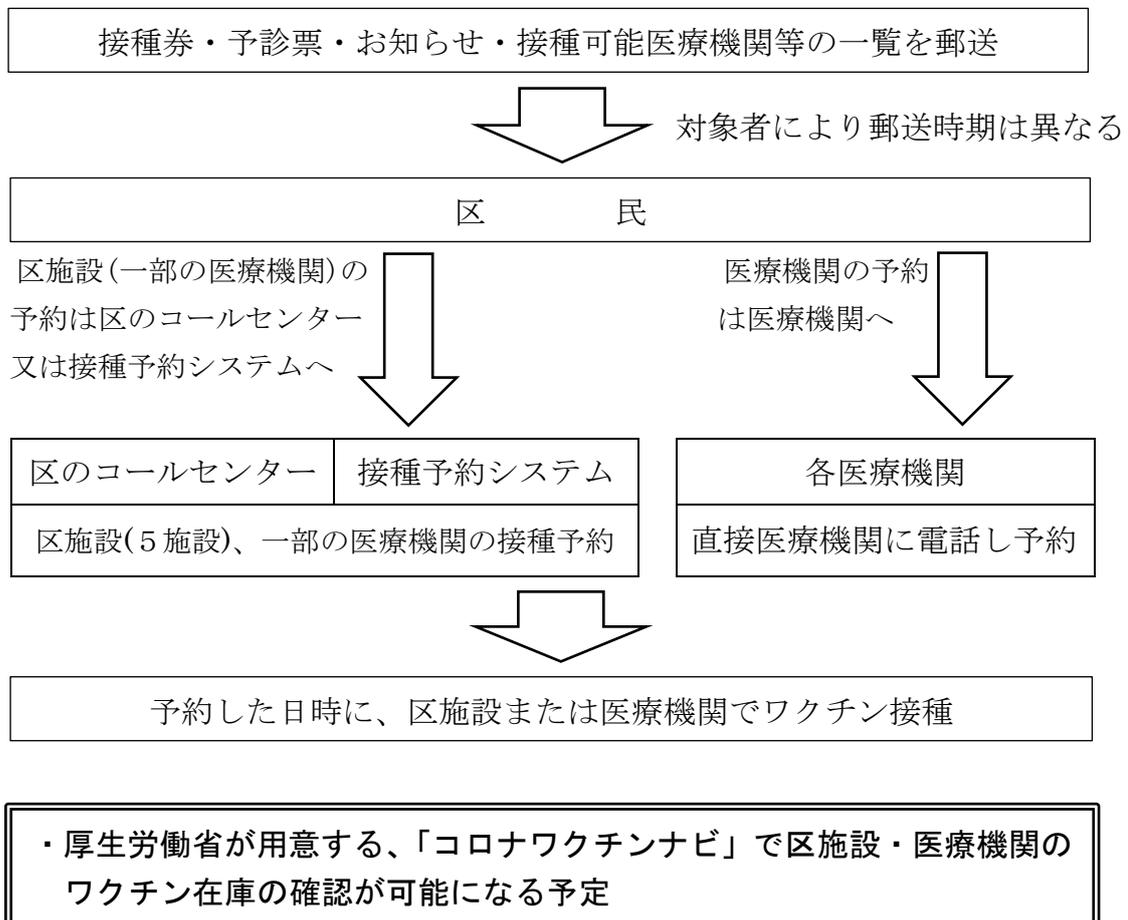
② 区施設（一部の医療機関）は、インターネット上の接種予約システムでも直接予約できる。

③ 医療機関は、直接医療機関へ電話する。

ワクチン接種を希望する医療機関に直接電話し予約する。

※区施設・医療機関のワクチンの在庫数は、「コロナワクチンナビ」で確認することができるようになる見込み。

【予約までのフロー図】



5 ワクチン接種の当日の流れ

(1) 医療機関での接種

病院、診療所等の協力医療機関は、2月末時点で約200か所である。

各医療機関でのワクチン接種は、インフルエンザ予防接種の流れと概ね同様となる見込みである。

(2) 区施設での接種

① 集団接種会場

	会場	接種担当
板橋地域	旧板橋第九小学校	区が委託した病院
常盤台地域	中央図書館跡地	区が委託した病院
赤塚地域	赤塚健康福祉センター	板橋区医師会
志村地域	志村健康福祉センター	板橋区医師会
高島平地域	高島平区民館	区が委託した病院

② 接種体制

ア 医師

イ 看護師

※医師及び看護師は、板橋区医師会及び医療機関に委託する予定

ウ 事務職員

【入口から経過観察までの流れ】

① 会場入口 → 入口で検温を行う。

② 受付 → 接種券・予診票の記入確認及び本人確認を行う。

③ 予診 → 医師が行う。

④ ワクチン接種 → 看護師が行う予定で調整中

⑤ ワクチン接種済証発行

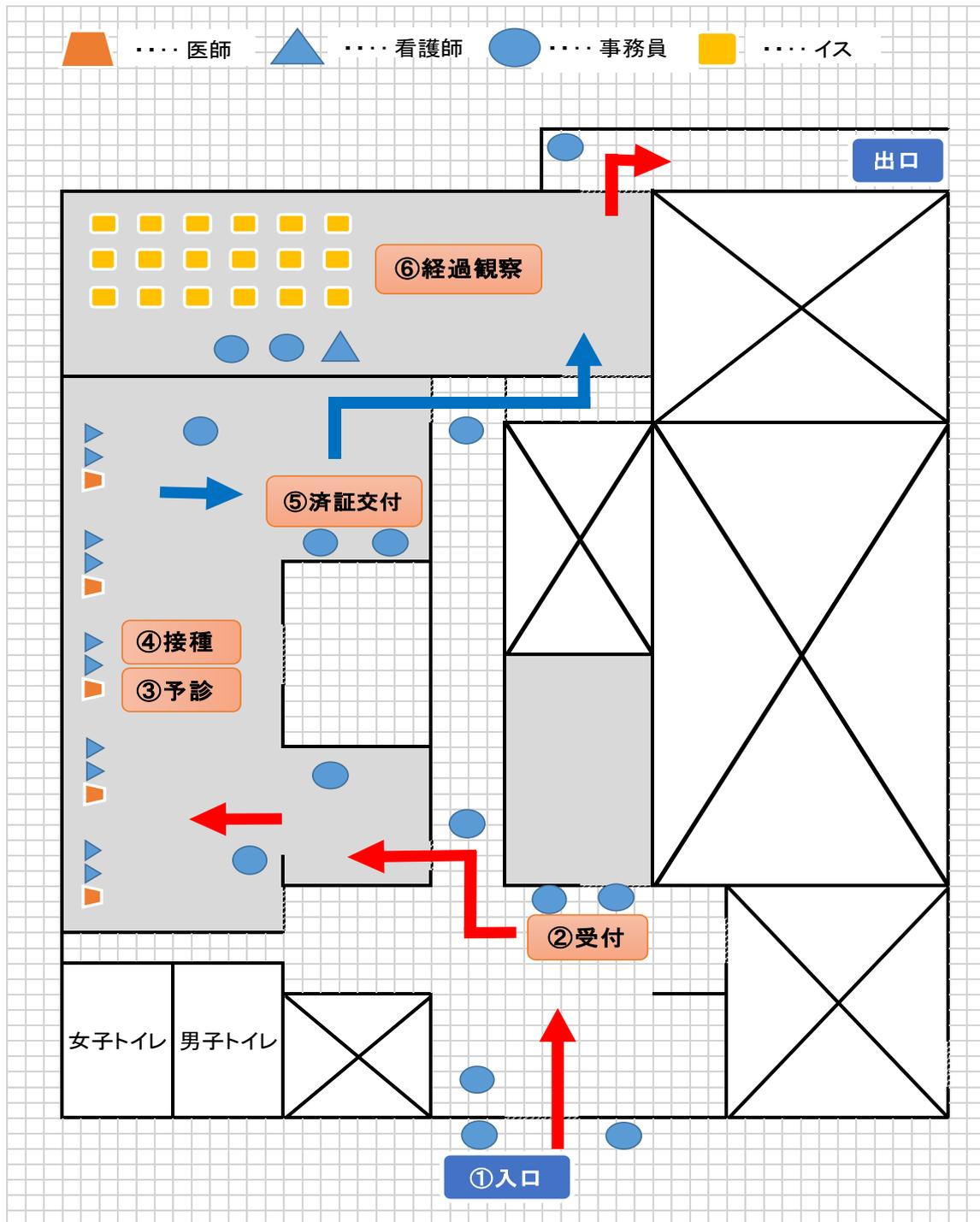
→ 接種券や予診票は2回目も使用するため、必ずご持参いただくよう伝達

⑥ 経過観察 → 15分程度の経過観察を行う。

※受付から接種までの時間を「1人10分」で想定する。

(3) 会場レイアウト図

例：中央図書館跡地



- ①入口 → 検温し、熱がある場合には、別の日に接種していただく。
- ②受付 → 接種券・予診票の確認及び本人確認を行う
- ③予診 → 医師が問診し、接種不可の場合は、別の日に接種していただく。
2回目の時には、1回目の予防接種済証を確認する。
- ④ワクチン接種
- ⑤ワクチン接種済証交付
- ⑥経過観察 → 15分から30分程度待機し、経過を観察する。

6 ワクチン輸送

ワクチン接種については、当面はファイザー社製ワクチンのみを使用することになる。ファイザー社製ワクチンは、超低温の保管を要することから、保管が可能な施設に限られる。

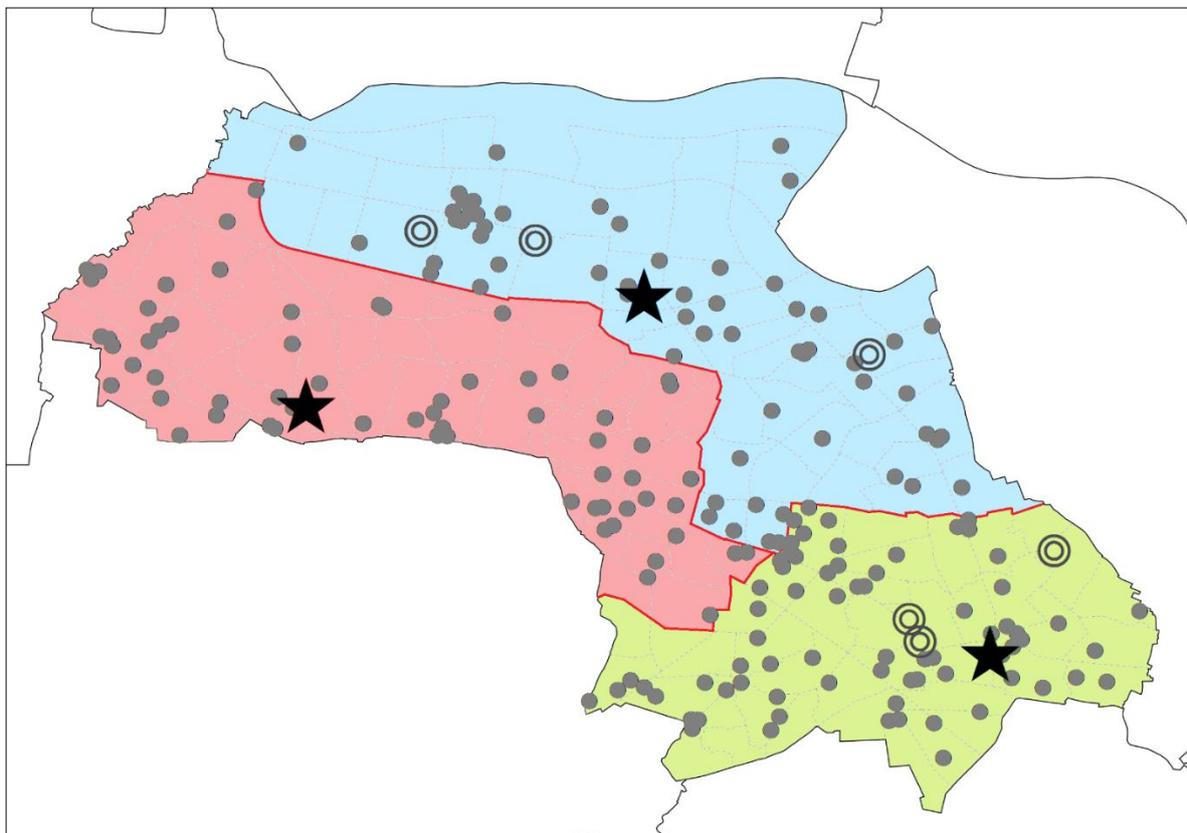
そのため、ディープフリーザーを設置する輸送拠点から、区施設及び医療機関にワクチンを適切に輸送する仕組みづくりが重要となる。

4月時点では、区に配置されるディープフリーザーは9台であり、そのうち板橋区保健所、赤塚健康福祉センター、志村健康福祉センターの3か所を輸送拠点とし、そこから約200か所にワクチンを輸送する。

なお、ファイザー社対応のディープフリーザーは、6月末までに35台が配備される見込みである。

※ディープフリーザーを設置して接種を行う接種実施医療機関等を「基本型接種施設」と呼ぶ。

【輸送マップ】

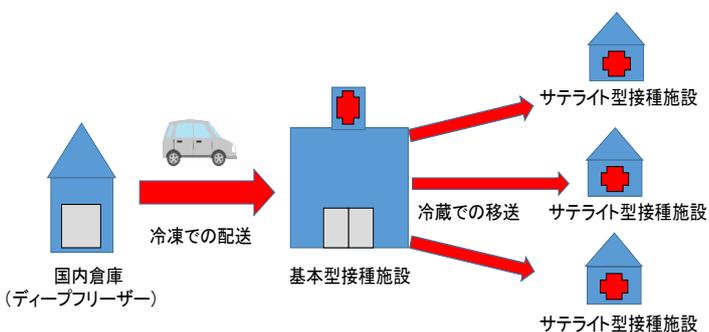
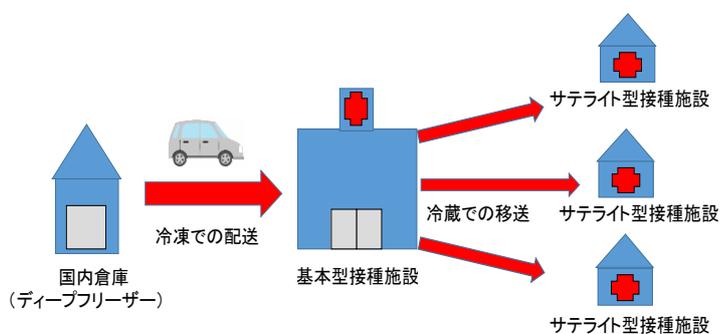
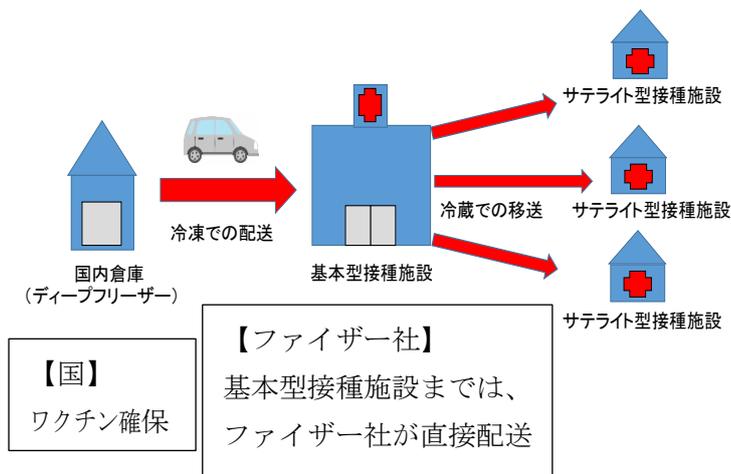


- ★配送拠点
 - ・板橋区保健所
 - ・志村健康福祉センター
 - ・赤塚健康福祉センター

◎基本型施設（6か所）

●サテライト型施設（約200か所）

【ファイザー社製ワクチン輸送体制】



【区】

基本型接種施設 9 か所

(6 月末までに 35 か所)

うち小分けの拠点 3 か所

→サテライト型接種施設約 200 か所に配送

1 か所あたり、週 2 回の配送を想定し、週あたり 400 回の配送能力を確保する。

区内全体で、配送を設定した曜日に

1 日あたり最大 9 台の車両を確保

- 最大で 1 台あたり午前 12 か所、

- 午後 12 か所、合計 24 か所に配送

- 9 台で 1 日あたり 216 か所に配送

- 週に 2 回配送する曜日を設定することで、1 週間あたりの最大の配送

- 回数、1 日あたり 216 回×2 日で

- 432 回となる。

	午前	午後	1 日
月曜日 (仮)	108	108	216
金曜日 (仮)	108	108	216
合計			432

週あたりの目標回数 400 回を超える、週あたり 432 回の配送体制を構築し、ワクチンの配送を円滑かつ確実に実施する。

さらに必要に応じて、基本の配送曜日以外も配送可能な体制を整え、臨時の応需にも柔軟に対応できるようにする。

7 高齢者施設等入所者及び訪問診療受診者への接種

(1) 高齢者施設等入所者への接種

下記の施設入所者については、原則として個別の施設毎の接種希望者を把握し、ワクチンを当該施設もしくは嘱託医の所属医療機関等へ配送し、各施設で接種していただく。

	施設数	定員	入所者数	
			合計	区区内数
1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	18	2,013	1,958	1,633
2. 介護老人保健施設	9	1,171	1,096	680
3. 介護療養型医療施設・介護医療院	5	325	※ 325	
4. 特定施設入所者生活介護 (有料老人ホーム、ケアハウス)	47	2,980	2,422	
5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	27	522	475	
6. 都市型軽費老人ホーム	7	115	※ 115	
7. サービス付き高齢者向け住宅	25	1,040	899	
合計	138	8,166	7,290	

※3、6の入所者数については定員数で計上

【4月中の接種】

- ・ワクチン供給量があまりにも少ないため、4月中は一般の高齢者ではなく高齢者施設の入所者に対してワクチン接種を実施する。
- ・高齢者施設への割り当てに際しては、区民の割合が高い施設から順にワクチンを配送していく。なお、ワクチン接種は、区民に限らず、希望する全入所者に対して実施する。
- ・ワクチンが十分に供給されるまでは、入所者のみを対象とする。ただし、5月以降にワクチンが十分に供給された場合は、入所者と施設従事者は、同時に接種する。

(2) 訪問診療受診者への接種

在宅で訪問診療を利用している方については、板橋区医師会在宅医療センターを通じて、予防接種の対象となる方のリスト作成を依頼している。実施医療機関ごとの接種希望者を把握し、個別にワクチンを配送し接種していただく。

8 障がい者施設入所者等への接種

(1) 施設入所者

下記の障がい者施設入所者については、高齢者施設と同様に、施設ごとの接種希望者を把握し、ワクチンを当該施設もしくは食卓委の医療機関へ配送し、各施設で接種していただく。

(2) 通所利用者

福祉園に通所している方々は本来、個別に接種していただくところだが、付き添いが必要な場合も多くあり、医療現場での混乱を避けるため、利用施設毎に接種を実施するべく調整を進める。

入所者と同様、施設ごとの接種希望者を把握し、施設もしくは嘱託医の医療機関へ配送する。

9 接種時期に実施すべき対応

(1) 区民に対する情報提供

- ・広報いたばし臨時号を全戸に配布（3月27日）
- ・区公式ホームページ
- ・区公式各種 SNS（ツイッター・フェイスブックなど）
- ・周知用ポスター・チラシの掲示、配布

(2) コールセンターの設置（令和3年3月1日～）

【委託で設置】

- ①ワクチン接種に関する一般的な相談への対応
 - ②区施設の予防接種の予約受付（5月上旬以降）
 - ③最大 60 ブースを設置する予定
- ※委託のコールセンターでは、9か国語に対応可能

【職員で設置】

問い合わせが多いことを想定し、職員による応援体制を整備し、最大 20 ブースを設置する予定であるが、設置時期は5月上旬で調整中である。

事業者の回線がすべて使用された際は自動的に、区のセンターに転送される仕組みを構築する。

(3) 副反応等への対応

- ・副反応等に関する情報は個別通知やホームページで随時更新し、区民に分かり易い情報提供に努める。
- ・区民向けの相談窓口は保健所に設置し、深刻な被害が生じた際は国や東京都と連携して対応していく。
- ・接種部位の腫れや倦怠感といった副反応やアナフィラキシー症状へ備えるため、各接種会場では接種後の状態を観察する場所を確保する。
- ・観察の場所には看護師等を配置して容体の急変に備え、重篤な症状が発生した場合は、医師の判断により治療にあたり、救急搬送も検討する。